

どう生かすかまちの税金

予算総額 393億8千万円を審議、可決

1 市長、令和2年度予算の説明(2月13日)

令和2年度当初予算
(議案第29、34号)

〔総額 393億8千万円〕
〔前年度比 96億円減〕

令和2年度予算審議において市長より「市政執行についての所信」があり、①市政運営の基本的な考え方②国および宮城県の動き③復興の完結④地方創生およびSDGsの推進⑤分野別施策⑥所信推進に向けてが述べられました。
主な内容としては

- ①市民と議会の御意見に真摯に耳を傾け、最大限の取り組みを進める。
- ②国・県の動きを的確に踏まえ、必要とする財源や支援措置についての効果的な活用を努めて行く。
- ③創造的復興を目標にラストスパートの年度と位置づけ邁進する。
- ④住み続けられるまちづくりを基本的な理念とし、一層の取り組みを進める。
- ⑤第2次総合計画の後期5年の策定を行う。
- ⑥将来を見据えた人口減少対策、SDGsの取り組みに最大限の力を傾ける。

総括質疑 Q&A

2月21日、3常任委員会より各委員長が、令和2年度当初予算について、市長の予算編成方針等を質疑しました。ここでは、質疑の一部をお伝えします。

令和2年度の
予算執行について

総務常任委員長

熊谷 昌崇

市長へ質疑

Q 定住化促進対策について。

A 移住を考えている人に対応するため、適切な情報提供等を行うことを目的に移住コーディネーターを配し、相談業務を行っている。

各種の事業
方針を伺う

民生教育常任委員長

上田 勉

市長へ質疑

Q 子育て支援態勢は。

A 待機児童は14名。保育士確保に努め、ウエルネス保育園は、午後8時まで延長保育する。

令和2年度の
予算執行に関して

産業建設常任委員長

阿部 としゑ

市長へ質疑

Q 観光客の消費拡大を図る方策は。

A 東松島夏まつり、航空祭、オルレ等観光客が見込めるイベントで、観光と物産のPR活動を行う。特産品の販売促進に取り組む。

Q デマンドバスの市外への病院等への運航区域の拡大は。

A 実現は難しいが、利用者の利便性向上のために努力する。

Q オリニピック聖火到着を記念し、スポーツ健康都市宣言をする。

A 健康づくりの普及は。

Q 自然災害や伝染病に対する防災対策の取り組みは。

A 地域防災計画において、災害種別ごとに「災害予防」「災害応急」「災害復旧・復興」の要領を定め、災害の種別や段階に応じて備えている。

Q 指導主事が担当し、授業改善策を実践する。また、ICT環境の充実により、デジタル教科書の拡充と授業力向上を図る。

A 学力向上策は。指導主事が担当し、授業改善策を実践する。また、ICT環境の充実により、デジタル教科書の拡充と授業力向上を図る。

Q 給食の残食率改善は。

A 農場産品の活用等により、残食率減に努める。

Q 雨水ポンプ場、雨水調整池などを整備しており、新年度中には全排水区で工事を終える予定となっている。今後の台風等による大雨には、さらなる排水効果が発揮されると考えている。

Q 雨水対策工事は。

A 雨水ポンプ場、雨水調整池などを整備しており、新年度中には全排水区で工事を終える予定となっている。今後の台風等による大雨には、さらなる排水効果が発揮されると考えている。